

平成 29 年度

羽ばたけつばくろ

応援事業



活 動 報 告 書

燕市教育委員会

～小学生から20歳までのみなさんの『夢』を募集します～  
羽ばたけつばくろ応援事業

燕市では、若者の主体的な活動を応援する、「羽ばたけつばくろ応援事業」を始めました。

対象は、「燕市に住所を有する高校生から20歳までの個人」または「燕市に住所を有する小学生から20歳までの者が代表となる団体・グループ」とし、将来を担う人材の育成を目指します。

目標や夢を実現するための、自己啓発、学習、視察などの活動や、地域で取り組むイベント、地域活動など社会参画事業の企画を募集し、個人は10万円、団体は25万円を限度にして補助を行います。

これまで支援の範囲に入りづらかった高校生も対象にし、夢のある・柔軟な企画を募集することで、「自分の夢や目標を叶えるため」、「住んでいるまちをもっとよくしたい」という一歩踏み出すきっかけづくりを応援していきます！

●審査委員長 新潟青陵大学 岩崎 保之教授による講評



今回企画を終えた6組のみなさん、大変お疲れ様でした。

皆さんの発表からは「伝えたい」という想いが伝わってきました。それは皆さんの活動の取り組みがしっかりした内容であり、またそれに対して自信があったからではないかと思います。そして、他の人の活動に対してもその努力が伺えるからこそ、それぞれの発表に対し、たくさんの質問が出たのではないかと思います。

さて、今回皆さんは自分達の活動を通し、夢の全部ではなくても、その一部を叶えることができたという成功体験を掴むことができたと思います。その経験は必ず、今後生きていくうえでの財産になります。

先行きの見えない世の中ではあるけれども、やり遂げたという思いと、指導していただいた先生や保護者、地域の方への感謝の気持ちを忘れず、今自分の関わっていることに責任と誇りを持って、これからも羽ばたいていってください。

**こばやし れいか  
小林 怜佳**

(新潟県立燕中等教育学校 5年生)

▶ 活動テーマ：日本とロサンゼルスの違いを見つける短期留学

- ・国際公務員になるという夢を叶えるため、ロサンゼルスに1週間短期留学を行う。
- ・異文化に対する理解を深める。自身の積極性を養う。
- ・現地での燕市のPRを行い、留学中の様子を自身のSNS上で発信。

**燕市立分水小学校 分小夢物語実行委員会**

(代表：燕市立分水小学校 6年生 **さこつ あすみ  
佐藤 愛澄** 構成員12名)

▶ 活動テーマ：分小夢物語

- ・「夢は牛のお医者さん」を分水小学校の体育館で上映、小学校の上学年や地域の方などに見ていただき、命の大切さや夢をもつことのすばらしさを広める。
- ・夢の実現に向けたアンケート調査の実施し、『夢新聞』を発行。これらの活動を小学校ホームページ等で発信。

**小池中学校生徒会**

(代表：小池中学校 3年生 **つのだ たける  
角田 彪瑠** 構成員7名)

▶ 活動テーマ：糸半(いとはん)プロジェクト～企業連携バージョン～

- ・万が一の災害時に備えて地域と中学生とが顔と顔の見える関係性を築き、つながりを深めることを目的に、一般企業を生徒が訪問したり、地域企業担当者に来校したりしていただき、講演会を開催する。
- ・「糸半企業新聞」を発行し、企業の人々を紹介するパンフレットを作成し、地場産業のすばらしさを発信する。

**新潟県立吉田高等学校アーチェリー部**

(代表：新潟県立吉田高等学校 2年 **ふじい ともひろ  
藤井 智大** 構成員9名)

▶ 活動テーマ：しつもんメンタルトレーニング

- ・しつもんメンタルトレーニング代表の藤代圭一氏をお招きし、メンタルコントロールを学ぶ講演会を開催することで、チームの競技力アップにつなげる。

**CREATORS**

(代表：新潟県立燕中等教育学校 5年 **おかだ まさとし  
岡田 成広史** 構成員8名)

▶ 活動テーマ：無料アプリゲームを用いた地域PR

- ・IT関係のサマーキャンプに参加するなどして、ゲーム作りの力を向上させる。
- ・アプリゲームを開発・配布し、市内外の多くの人に燕市をPR。

**新潟県立分水高等学校**

(代表：新潟県立分水高等学校 3年 **こばやし まこ  
小林 真子** 構成員17名)

▶ 活動テーマ：「分水まち歩きMAP」の制作

- ・分水地区の史跡や名所の他、知る人ぞ知る食事処やおもしろスポットを発信すべく、「分水まち歩きMAP」を作成。
- ・分水地区の各店舗や良寛資料館、観光協会とも連携を予定しており、各所への取材や実際に自分たちのおすすめるルートを提案、地域内外に発信する。

## 日本とロサンゼルスの違いを見つける短期留学



県立燕中教育学校 小林 怜佳

活動の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・異文化に対する理解を深め、自分の価値観に多様性を持たせる。</li><li>・日本とロサンゼルスの違いについて学ぶ。</li><li>・自身の積極性を養う。</li></ul>
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・8月13日～19日までロサンゼルスの Yafa Zarrabi さん宅にホームステイした。ホームステイ先では、とても親切に迎え入れてくれ、一緒に滞在していた他の留学生と夕食を摂ったり、互いの国の文化などについて話をしたりした。</li><li>・語学学校(ES Los Angeles)に通学し、中国人やイタリア人、サウジアラビア人など、15人程度のクラスで、様々な国の人と一緒に交流しながら勉強した。</li><li>・現地の人々には、燕市のパンフレットなどを用い、おいらん道中の様子を見せたり、コメの生産が盛んであることについてPRしたりした。現地の人にパンフレットを渡すと、花魁の写真をととても興味深そうに見ていた。</li></ul>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ロサンゼルスに滞在する中で、自分の未熟な部分を見つけたことが一番の収穫となり、これから勉強するための励みになった。</li><li>・普段は得意科目だと思っている英語も、実際の会話となるとなかなか上手くいかないことを改めて痛感した。</li><li>・初めて一人で海外に行ったことで積極性を養い、色々な国出身の人に燕市を紹介することができ、とても貴重な機会となった。</li></ul>
これからの目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回の経験を軸にして、今後はより明確な目的を持って海外で勉強することも視野に入れ、将来の夢に繋がる経験を積みたい。そのためにも、できるだけ目標に近い大学に入るために日々の勉強を怠らないことを最優先にしたい。</li></ul>

## 分小夢物語



燕市立分水小学校 分小夢物語実行委員会

代表 佐藤 愛澄

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県の小学校を舞台にした映画「夢は牛のお医者さん」を通して、命の大切さや夢を叶えることの素晴らしさをみんなに伝える。</li> <li>・子どもの頃の夢を追いかけ、大人になって獣医師になった現在もその夢の実現に向かって努力を続ける主人公の姿をもとに、今の自分を振り返る。</li> <li>・映画の上映前後のアンケート調査や、夢の実現に向けてのアンケート調査などを分析して、『夢新聞』を発行する。</li> <li>・以上の活動を小学校のホームページなどに掲載し、広報する。</li> </ul>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画「夢は牛のお医者さん」を小学校の体育館で上映し、上学年（4～6年生）や希望される地域の方、保護者の方から見ていただいた。</li> <li>・上映料金には今回の補助金を充て、来ていただいた大人の方には有料でみていただいた。</li> <li>・上映前にはチラシを作り、映画のいいところやみてほしいところを多くの人に呼び掛けた。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画の上映を通して多くの方に夢の大切さや夢を見ることのすばらしさを広めることができた。そして、振り返り活動ではとてもよい評価をいただいた。</li> <li>・みんな自分の夢について考えるよい機会をなった。</li> <li>・大人の方からはたくさんの激励の言葉をいただいた。</li> <li>・この活動をホームページや『夢新聞』で発信することができ、新潟日報にも新聞記事で取り上げられた。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たち実行委員会のメンバーはもうすぐ小学校を卒業する。夢を叶えるために、具体的な目標をもって生活していこうという気持ちが強くなった。</li> </ul>

## 糸半（いとはん）プロジェクト ～企業連携バージョン～



小池中学校生徒会

代表 角田 彪瑠

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸半プロジェクトを通して、地域の方への恩返しをする。</li> <li>・地域の方々との結び付きを強める。</li> <li>・学校と企業が結びつくことにより、地域と企業を結び付ける役割を果たす。</li> </ul>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸半朝会や糸半講演会として、地域企業の社長や小池中学校の卒業生の方々から全校生徒に講話をいただいた。</li> <li>（企業は株式会社中野科学、燕物産株式会社、株式会社新越ワークス、鍛工舎、有限会社長谷川挽物製作所、株式会社阿部工業。卒業生は燕第一地区まちづくり協議会長様、豊栄病院副院長様）</li> <li>・企業の社長様や卒業生の方からの話をもとにして、糸半新聞とポスターを制作した。</li> <li>・地域クリーン作戦への参加、地域防災訓練での手伝い、認知症サポーター講座への参加などの地域貢献活動は継続して行った。全校生徒に講話をしていただいた。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の活動で企業との結び付きを強くし、自分たちが行っている活動を地域に広く発信することができた。講話を聴くだけでなく、各企業に訪問してインタビューをすることで、自分たちの知らない企業のことや製品のことを知ることができ、貴重な体験となった。</li> <li>・防災訓練では、各自治会の役員の方々と一緒に避難者カード係や非常食係などのお手伝いをするすることができた。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の活動で、糸半プロジェクトが大きく前進した。この勢いに乗って、企業との結び付きをいっそう強いものにしたい。</li> <li>・クリーン作戦や防災訓練への参加など、地域と結び付くことができる活動を続けていくことで、今まで以上に地域と学校が顔と顔の見える関係になるようにしたい。</li> <li>・糸半を小池中学校の代名詞にしたい。そのために、糸半新聞とポスターを燕市内の公共施設を中心に置いてもらい、取り組みをPRしたい。</li> </ul>

## しつもんメンタルトレーニング



県立吉田高等学校アーチェリー部

代表 藤井 智大

活動の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの世界では、選手たちはより良いプレイをするために日々活動しているが、現実には緊張により自分のやるべきことが分からなくなるなど、「理想と現実のギャップ」に苦しんでいる。そこで燕市の皆様と緊張について学び、成長するために講演会を企画する。</li> </ul>
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に参加したいと思うような題名決め</li> <li>・この活動をする理由を探り明確にする。コンセプト・ビジョンの決定</li> <li>・コンセプトやビジョンをもとに、参加者の目線になって考えながらポスター・チラシを作成</li> <li>・ポスター掲示のお願いとチラシ配りや SNS を使い集客</li> <li>・来なくなる講演会にするためには何が必要かを検討</li> <li>・参加者に来てよかった、楽しかったと思っていただくような会場準備</li> </ul>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 200 名の方々に参加していただくことができた。</li> <li>・年齢や競技の垣根を越えて多くの方に「自分に自信がもてた。」「とても勉強になった。」というものや、「グループの人たちと共通の課題に向けて取り組んだので、いろんな意見が聞けてよかった。」などの感想をいただいた。</li> <li>・集客の際には周りの人を応援するつもりが逆に応援されるような場面もあり、自分達が周囲の人たちに見守られ、とても恵まれた環境にいることに気づくことができた。</li> </ul>
これからの目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊張する場面では講演会での知識や経験を活かし、インターハイでは入賞を狙いたい。</li> <li>・多くの体験をさせていただき共に問題を乗り越えたことで、部活動全体の絆が深まった。アーチェリーは個人競技であるが、団体であるということを意識してチームとして乗り越えていきたい。</li> </ul>

## 無料アプリゲームを用いた地域 PR



CREATORS

代表 岡田 成広史

<p>活動の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT 関係のサマーキャンプ「Life is Tech」に参加するなどしてゲーム作りの力を向上させ、燕市を PR するアプリゲームを開発・無料配布する。</li> <li>・ブログなどによる広告活動を行い、半永久的な宣伝を行う。</li> </ul>
<p>活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に中学生・高校生向けのプログラミングを学ぶことを目的としたサマーキャンプ「Life is Tech」に参加し、宿泊体験を通じてアプリゲームを作成する際の基礎知識を身に付けた。</li> <li>・キャンプ参加後はテキストを購入して「Unity」というソフトを使用し、基本的には自主学習によってゲームの制作を開始。</li> <li>・ゲームのテーマは、燕の成長。市内各地での職業体験やミニゲームなどを通じて経験値を得て、その燕を成長させていく。</li> <li>・ゲームの中には戸隠神社のキャラクター「つばくろちゃん」を用いる。</li> </ul>
<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの完成はできなかったが、その枠組みを作成することができた。</li> <li>・シナリオ作成にあたって情報収集するために、燕市の観光スポットや歴史などを学ぶことができた。</li> <li>・今回ゲーム制作に使用した「Unity」というソフトは、多くの人から使用されているため、今回の経験が将来的にも役に立つと思う。</li> </ul>
<p>これからの目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年から受験生になりなかなか時間が取れない状況となるが、このゲーム制作は今後も続けていきたい。ゲームが完成した時には広く公表し、燕市を PR したい。</li> </ul>



## 「分水まちあるき MAP」の作成



新潟県立分水高等学校

代表 小林 真子

活動の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・3年間通った分水の町を取材することで再発見し、多くの人たちに知ってもらおう。</li></ul>
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・様々な散策地図を参考に地図のレイアウトを決める。</li><li>・取材する場所を分担し、各自アポイントメントを取って取材する。</li><li>・取材した内容を原稿に起こし、レイアウトを決めていく。</li><li>・必要なカット・イラストを作成する。</li><li>・印刷屋さんやりとりをしながら、手直しをしていく。</li></ul>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・手にとって使いやすい地図になるよう工夫することで、デザインの重要性を学ぶことができた。</li><li>・取材を通して、分水の町を発見でき、分水高校は多くの方に見守られているのだと分かった。</li></ul>
これからの目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・作成したマップは分水駅に配置するなどし、様々な人の手に取ってもらいたい。</li><li>・企画から準備、実際の作業と多くの行程を行うことができた。この経験は、実際に仕事に就いたときに役立てていきたい。</li></ul>